

編 集 後 記

この総合情報処理センター教育広報専門委員会の委員になってから、もう何年経っているだろうと本人も自覚できていないまま、今日に至ってしまいました。お陰さまで、今度のセンター管理運営組織の改編・統合により、やっと解放されそうとのお話で、正直に言いますと、ほっとしております。

今までの事を振り返ってみますと、自分はそのために何をしてきたのかとちょっと不安にもなりますが、とにかく各委員が一致協力して、センターに関わる広報などを一所懸命努力してきたことだけは、このHIROINを定期的に発行してきたことを見ましても、職責を果たしてきたのではないのでしょうか。

さて、今日の国立大学を取り巻く環境は、皆さんもご存知の通り、独立行政法人化や改編・統合等の話で、大きく変貌しようとしている重要な時期であります。その一構成組織としての総合情報センターにとっても例外ではないと思います。とりわけ、平成14年度から始まる“21世紀教育”においては、今までの新入生向けの必修科目“コンピュータ演習”が学生の習得レベルに応じてクラス編成となるそうです。これをトラブルなく円滑に実施するためには、センターの管理運営も一層の努力が必要であろう。また、学内のギガビットネットワークシステム導入により、皆さんにとってセンターは益々利用しやすくなりましたが、いろいろ問題もあると思います。特に、セキュリティに関するものです。実は、今年始め頃に学内外から何十通ものウィルス付きメールが届きました。これに関して、なかなか有効な防止策がないかもしれませんが、ぜひこの広報誌を通じて、日頃どのようにすれば被害を最小限にできるのか、また問題が発生したらどのように対処すればいいのか、迅速に関連情報を流してもらいたいとの一利用者の願いでもあります。

最後に、今までの各委員の皆さんに“ご苦労様”と感謝を申し上げ、これから益々皆さんに役に立つ広報誌になるよう、次期委員会の一層の努力を期待していきたいと思います。

(s. Z)

弘前大学総合情報処理センター 教育広報専門委員会

山下 祐 介 (人 文 学 部)
伊藤 成 治 (教 育 学 部)
市村 雅 一 (理 工 学 部)
張 樹 槐 (農 学 生 命 科 学 部)
高 梨 一 彦 (医 学 部)
丹 波 澄 雄 (総合情報処理センター)